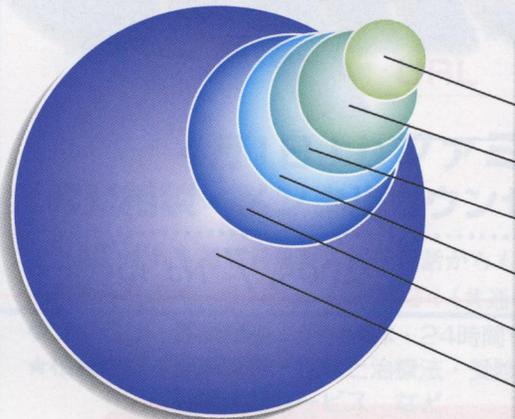


平成16年度決算のご報告

老人保健拠出金が、前年度対比約2億3,700万円の大規模な減少で好材料に!
医療費も、同じく約3,100万円減で引続き減少傾向にあります。

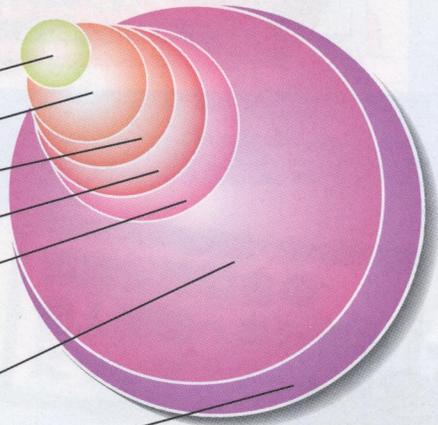


収入合計 3,376,631千円

繰入金	5,065千円
雑収入	9,874千円
国庫負担金収入・国庫補助金収入	14,352千円
財政調整事業交付金	30,998千円
調整保険料	45,935千円
健康保険料	3,270,407千円

支出合計 2,855,058千円

その他	2,503千円
積立金	9,370千円
財政調整事業拠出金	45,802千円
事務費	65,268千円 (2.00%)
保健事業費	89,551千円 (2.74%)
拠出金合計	1,149,477千円 (35.15%)
老人保健拠出金	821,543千円 (25.12%)
退職者給付拠出金	327,934千円 (10.03%)
保険給付費	1,493,087千円 (45.65%)
(医療費・現金給付費)	



内の数字は保険料収入に占める割合です。

決算残金 521,573千円
経常収支差引額 475,658千円

介護保険分の決算

介護保険の納付金は全額を国庫に納付し、運営者である全国の市区町村に配分されています

収入		
科目	決算額	※被保険者1人当たり
介護保険収入	230,030千円	72,020円
繰越金	3,434千円	1,075円
合計	233,464千円	73,095円

支出		
科目	決算額	※被保険者1人当たり
介護納付金	209,957千円	65,735円
介護保険料還付金	41千円	13円
積立金	256千円	80円
合計	210,254千円	65,828円

※介護保険納付被保険者の1人当たり額です。

決算残金 23,210千円

決算のあらまし

●● 経常収支で約4億7,600万円の黒字で好決算となりました ●●

平成16年度の収支決算と事業報告が過日開催の組合会で承認されましたので、別掲のとおり決算の概要をご報告いたします。収入総額33億7,663万円（前年度33億4,819万円）、支出総額28億5,506万円（同31億6,419万円）で、収入支出差引残額は5億2,157万円（同1億8,400万円）です。

ただし、収入の中には財政調整事業交付金や繰入金などが含まれていますので、これらを除いた実質的な経常収支差引額は4億7,566万円（同8,151万円、14年度▲4億2,977万円）の黒字と大きく回復し好決算となりました。

●● 老人保健拠出金が大幅減少、拠出負担が14年度までの水準に戻る ●●

本決算の主なポイントは、保険料収入が業界好況などを反映して標準報酬等の伸びにより32億7,041万円（前年度31億6,467万円）で前年度より1億574万円の増収となりました。

支出については、医療費（保険給付費）が14億9,309万円（同15億2,420万円）で3,111万円の減少となり、皆様のご協力により4年連続して減少しています。また、老人保健拠出金等も前年度より2億5,327万円減少して11億4,948万円（同14億274万円）と大幅に拠出負担が軽減され、それぞれ収支において好決算につながる要因となりました。

被保険者1人当たりでみる決算額（%は前年度対比 ▲は減 +は増）

収入合計 452,632円 (+0.9%)

繰入金	679円	(▲74.9%)
雑収入	1,324円	(▲27.7%)
国庫負担金収入・国庫補助金収入	1,924円	(▲43.1%)
財政調整事業交付金	4,155円	(▲60.6%)
調整保険料	6,158円	(+0.5%)
健康保険料	438,392円	(+3.4%)

支出合計 382,716円 (▲9.7%)

その他	336円	(▲3.4%)
積立金	1,256円	(+87.5%)
財政調整事業拠出金	6,140円	(+0.4%)
事務費	8,749円	(▲23.1%)
保健事業費	12,004円	(▲9.5%)
拠出金合計	154,085円	(▲18.0%)
老人保健拠出金	110,126円	(▲22.3%)
退職者給付拠出金	43,959円	(▲4.7%)
保険給付費 (医療費・現金給付費)	200,146円	(▲2.0%)

